

令和 6 年 度
第 4 回
徳 島 県 最 低 賃 金 専 門 部 会

日 時 令和 6 年 8 月 21 日 (水)
午後 3 時 00 分～

場 所 徳島地方合同庁舎 6 階会議室
徳島市徳島町城内 6-6

徳 島 労 働 局

次 第

1 徳島県最低賃金改正審議について

2 その他

<メモ>

資 料 目 次

資料番号・資料名	頁
1-1 月例経済報告等基調判断	1
-2 徳島県金融経済概況	3
-3 倒産件数・負債額の推移	5
-4 春季賃上げ回答妥結状況	7

<メモ>

令和6年 月例経済報告等基調判断

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
月例経済報告	<p>景気は、このところ一部足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <p>景気は、このところ一部足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、持ち直している。 設備投資は、持ち直しに足踏みがみられる。 輸出は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。 生産は、持ち直しの兆しがみられる。 企業収益は、総じてみれば改善している。 企業の業況判断は、改善している。 雇用情勢は、改善の動きがみられる。 消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。 	<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。 設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 輸出は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。 生産は、持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している。 企業収益は、総じてみれば改善している。 企業の業況判断は、改善している。 雇用情勢は、改善の動きがみられる。 消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。 	<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。 設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 輸出は、持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している。 企業収益は、総じてみれば改善している。 企業の業況判断は、改善している。 製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる。 雇用情勢は、改善の動きがみられる。 消費者物価は、緩やかに上昇している。 	<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。 設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 輸出は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。 生産は、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、生産活動が低下していたが、このところ持ち直しの動きがみられる。 企業収益は、総じてみれば改善している。 企業の業況判断は、改善している。ただし、製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる。 雇用情勢は、改善の動きがみられる。 消費者物価は、緩やかに上昇している。 	<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。 設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 輸出は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。 生産は、このところ持ち直しの動きがみられる。 企業収益は、総じてみれば改善している。 企業の業況判断は、改善している。ただし、製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる。 雇用情勢は、改善の動きがみられる。 消費者物価は、緩やかに上昇している。 	<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。(6/28)</p>
徳島県金融経済概況	<p>徳島県内の景気は、持ち直している。</p> <p>すなわち、設備投資は低調で推移している。個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、着実に持ち直している。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は持ち直している。こうした中、企業の生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。</p>	<p>徳島県内の景気は、持ち直している。</p> <p>すなわち、設備投資は低調で推移している。個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、着実に持ち直している。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は持ち直している。こうした中、企業の生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。</p>	<p>徳島県内の景気は、持ち直している。</p> <p>すなわち、設備投資は低調で推移している。個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、着実に持ち直している。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は持ち直している。こうした中、企業の生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。</p>	<p>徳島県内の景気は、持ち直している。</p> <p>すなわち、設備投資は増加している。個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、着実に持ち直している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は持ち直している。こうした中、企業の生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。</p>	<p>徳島県内の景気は、持ち直している。</p> <p>すなわち、設備投資は増加している。個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、着実に持ち直している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は持ち直している。こうした中、企業の生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。(6/10)</p>	<p>徳島県内の景気は、持ち直しのペースが鈍化している。</p> <p>すなわち、設備投資は増加している。個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、着実に持ち直している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は持ち直している。こうした中、企業の生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。(6/10)</p>
徳島経済レポート	<p>緩やかに回復している</p> <p>景況をみると、一服感がみられるも、全体として回復傾向が緩んでいる。景気は緩やかに回復している」と判断を据え置いた。物価高による買い控えや、暖冬による消費動向への影響に注視が必要である。</p>	<p>一部一服感がみられるが、緩やかに回復している</p> <p>景況をみると、個人消費に一服感がみられる。景気は「一部一服感がみられるが、緩やかに回復している」と判断を据え置いた。物価の高止まりによる個人消費動向の変化に注視が必要である。</p>	<p>一部一服感がみられるが、緩やかに回復している</p> <p>景況をみると、個人消費に一服感がみられる。景気は「一部一服感がみられるが、緩やかに回復している」と判断を据え置いた。物価と賃上げの動向にもなう個人消費の変化に注視が必要である。(No478)</p>	<p>一部一服感がみられるが、緩やかに回復している</p> <p>景況をみると、個人消費に一服感がみられる。景気は「一部一服感がみられるが、緩やかに回復している」と判断を据え置いた。物価と賃上げの動向にもなう個人消費の変化に注視が必要である。(No479)</p>	<p>一部一服感がみられるが、緩やかに回復している</p> <p>景況をみると、個人消費に一服感がみられる。景気は「一部一服感がみられるが、緩やかに回復している」と判断を据え置いた。物価と賃上げの動向にもなう個人消費の変化に注視が必要である。(No479)</p>	<p>回復のペースが鈍化しつつある</p> <p>景況をみると、個人消費は横ばいで留まっており「回復のペースが鈍化しつつある」と判断を引き下げた。物価、賃上げ、定額減税の影響に伴う個人消費の変化に注視が必要である。(No480 6/26)</p>
職業安定業務統計速報	<p>一部産業に底堅い推移がみられるものの、求人ば緩やかに減少している。足元の経済情勢等が雇用と与える影響には留意する必要がある。</p>	<p>一部産業に底堅い推移がみられるものの、求人ば緩やかに減少している。足元の経済情勢等が雇用と与える影響には留意する必要がある。(4/25)</p>	<p>一部産業に底堅い推移がみられるものの、求人ば緩やかに減少している。足元の経済情勢等が雇用と与える影響には留意する必要がある。(5/30)</p>	<p>求人か求職を上回って推移しているものの、求人は緩やかに減少している。足元の経済情勢等が雇用と与える影響には留意する必要がある。(6/27)</p>	<p>求人か求職を上回って推移しているものの、求人は緩やかに減少している。足元の経済情勢等が雇用と与える影響には留意する必要がある。(6/27)</p>	<p>求人か求職を上回って推移しているものの、求人は緩やかに減少している。足元の経済情勢等が雇用と与える影響には留意する必要がある。(7/2)</p>

令和6年 月例経済報告等基調判断

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
月例経済報告	<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。(7/25)</p> <p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費は、持ち直しに足踏みもみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・輸出も、おおよそ横ばいとなっている。 ・生産は、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断も、改善している。 ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・消費者物価は、緩やかに上昇している。 					
徳島県金融経済概況	<p>徳島県内の景気は、持ち直しのペースが鈍化している。</p> <p>すなわち、設備投資は増加している。個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は持ち直している。こうした中、企業の生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。(7/12)</p>	<p>徳島県内の景気は、持ち直しのペースが鈍化している。</p> <p>すなわち、設備投資は増加している。個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は持ち直している。こうした中、企業の生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。(8/9)</p>				
徳島経済レポート	<p>回復のペースが鈍化しつつある</p> <p>景況をみると、個人消費において価格選好が強まっており、「回復のペースが鈍化しつつある」と判断を据え置いた。物価、賃上げ、ボーナス支給傾向ともなう個人消費の変化に注視が必要である。(No481 7/29)</p>					
職業安定業務統計速報						

(本件に関する照会先)
日本銀行徳島事務所 088-622-3126

2024年8月9日
日本銀行高松支店
徳島事務所

徳島県金融経済概況

1. 概況

- 徳島県内の景気は、持ち直しのペースが鈍化している。

すなわち、設備投資は増加している。個人消費は物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は持ち直している。こうした中、企業の生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、増加している。

6月短観における設備投資（全産業）をみると、2024年度は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。

大型小売店の売上は、底堅く推移している。

乗用車販売は、弱い動きとなっている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、持ち直している。

- 企業の生産は、横ばい圏内の動きとなっている。

化学は、高水準で推移している。

電気機械は、弱含んでいる。

食料品は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。

パルプ・紙・紙加工品は、横ばい圏内の動きとなっている。

はん用・生産用機械は、横ばい圏内の動きとなっている。

金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。

- 雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。

- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、2%台後半のプラスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出は、前年を上回っている。

貸出約定平均金利は、前月比上昇した。

- 預金は、前年を上回っている。

- 倒産および信用保証協会の代位弁済は、感染症拡大前の水準となっている。

以 上

徳島県内の倒産件数・負債総額の推移

1 帝国データバンク(TDB)

月	令和6年		令和5年		令和4年		令和3年		令和2年		平成31年・令和元年		平成30年		平成29年		月
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	
1月	2	60	5	273	1	70	2	430	4	657	5	670	0	0	1	29	1月
2月	0	0	2	310	7	1,875	0	0	6	719	1	656	2	135	1	10	2月
3月	9	339	2	320	3	2,400	3	838	7	2,622	3	1,112	8	1,391	3	1,180	3月
4月	1	50	3	208	1	50	2	423	5	208	8	1,245	4	142	0	0	4月
5月	3	368	5	1,017	3	985	3	109	4	1,320	1	93	1	160	4	885	5月
6月	4	200	3	50	0	0	3	217	9	1,448	2	338	0	0	4	310	6月
7月	6	374	2	37	3	1,490	5	836	4	383	2	47	3	431	1	50	7月
8月			4	375	4	334	1	40	3	91	1	55	2	171	4	836	8月
9月			3	150	3	135	3	549	4	379	5	612	0	0	4	831	9月
10月			3	311	1	74	0	0	2	350	2	212	3	977	1	16	10月
11月			2	163	3	876	2	1,770	3	613	3	659	2	306	2	300	11月
12月			3	62	1	25	1	10	0	0	6	1,203	3	113	9	1,144	12月
合計	25	1,391	37	3,276	30	8,314	25	5,222	51	8,790	39	6,902	28	3,826	34	5,591	合計
1~7 月計	25	1,391	22	2,215	18	6,870	18	2,853	39	7,357	22	4,161	18	2,259	14	2,464	1~7 月計

(注1) 負債1,000万円以上の企業倒産(資料出所…帝国データバンク徳島支店)

(注2) 平成17年4月以降、倒産集計基準の変更(倒産五法による法的整理のみ集計)

徳島県内の倒産件数・負債総額の推移
2 東京商工リサーチ

月	令和6年		令和5年		令和4年		令和3年		令和2年		平成31年・令和元年		平成30年		平成29年		月
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	
1月	3	70	5	489	1	50	2	600	4	577	5	559	3	636	1	93	1月
2月	1	20	2	300	6	1,091	0	0	2	320	3	1,046	1	35	1	115	2月
3月	8	453	2	80	4	2,445	3	682	11	3,057	3	1,023	7	1,750	4	1,130	3月
4月	2	115	3	140	2	83	2	628	5	240	8	1,215	5	149	1	40	4月
5月	6	705	5	605	3	1,077	3	80	4	1,360	4	123	2	173	6	945	5月
6月	5	265	2	65	1	10	4	312	9	2,772	2	341	1	65	1	135	6月
7月	5	565	4	336	3	941	5	1,497	3	426	1	27	2	255	1	100	7月
8月			2	40	4	261	2	90	2	180	2	70	1	100	4	667	8月
9月			4	730	2	91	3	550	5	391	5	535	1	15	4	1,020	9月
10月			4	293	1	67	0	0	2	730	2	130	4	1,161	1	461	10月
11月			1	130	4	1,216	2	1,770	3	900	3	455	2	70	2	430	11月
12月			3	70	1	10	1	10	0	0	5	878	4	82	8	653	12月
合計	30	2,193	37	3,278	32	7,342	27	6,219	50	10,953	43	6,402	33	4,491	34	5,789	合計
1~7 月計	30	2,193	23	2,015	20	5,697	19	3,799	38	8,752	26	4,334	21	3,063	15	2,558	1~7 月計

(注1) 負債1,000万円以上の企業倒産(資料出所…東京商工リサーチ徳島支店)

令和6年 春季賃上げ 回答妥結状況

令和6年8月13日
徳島労働局賃金室まとめ

	令和6年妥結状況			令和5年実績			対前年比	
	社数・組合数	妥結額	賃上げ率	社数・組合数	妥結額	賃上げ率	額	ポイント比
厚生労働省(民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況) 令和6年8月2日発表 348社 17,415円 5.33%	令和6年8月2日発表			令和6年8月4日発表 364社 11,245円 3.60%			6,170円	+1.73
対象等	妥結額(定期昇給込みの賃上げ額)などを把握できた、資本金10億円以上かつ従業員1,000人以上の労働組合のある企業。数値は各企業の組合員数による加重平均である。 妥結額は、原則として定期昇給込みの賃上げ額を用いたが、一部に年齢ポイント(30、35歳など)での妥結額(定期昇給込みの賃上げ額)を含んでいる。							
連合(令和6年7月3日発表第7回 集計(最終)、平均賃金方式による組合員数での加重平均)								
	令和6年妥結状況			令和5年妥結状況			対前年比	
	7/3 定昇相当分 込み賃上げ計			昨年同時期 7/5				
合計	4,938組合	15,236円	5.08%	4,475組合	10,807円	3.66%	4,429円	+1.42
300人未満計	3,516組合	11,361円	4.45%	3,144組合	8,328円	3.36%	3,033円	+1.09
300人以上計	1,422組合	15,784円	5.16%	1,331組合	11,147円	3.69%	4,637円	+1.47
1,000人以上	488組合	16,211円	5.19%	446組合	11,519円	3.73%	4,692円	+1.46
日本経団連 春季労使交渉・大手企業業種別回答状況[了承・妥結含](加重平均)(第2回2024年8月5日発表最終)	7/3 135社 19,210円 5.58%			昨年同時期 8/4 136社 13,362円 3.99%			+1.59	
春季労使交渉・中小企業業種別回答状況[了承・妥結含](加重平均)(第1回2024年6月13日発表)最終集計8月	2024年6月13日公表			2023年6月23日集計結果				
製造業平均	148社	11,042円	4.12%	175社	8,349円	3.10%	2,693円	+1.02
非製造業平均	78社	9,286円	3.53%	102社	7,076円	2.68%	2,210円	+0.85
総平均	226社	10,420円	3.92%	277社	7,864円	2.94%	2,556円	+0.98
・中小企業(500人未満17業種754社対象、288社の回答を把握、このうち11社は平均金額不明等のため除外、上記は定期昇給(賃金体系)含む、加重平均								
徳島県経営者協会	集計 48社 8,608円 3.10%			昨年同時期 同一社での比較 7,166円 2.72%			1,442円 +0.38	